

日時 2019/12/25 ~2019/12/28

場所 山東省威海市威海ハイテクパーク内海悦建国飯店

参加者 海洋技術、新素材、先端製造に関する専門家で日本滞在中国人と日本人 52 名
日中技術交流センターからは応募者のなかから 12 名が参加

目的 第一階日中科学テクノロジー革新協力大会参加と企業交流及び企業訪問

12月4日に山東省科学技術庁が日本技術士会への訪問がありその直後12月6日(金)に表記大会参加の要請があった。締め切りが10日なので9日までにメンバー10名前後を決めて欲しいとの連絡。6日に募集をかけて土日及び月曜日15時頃までに連絡があった人16名の内、書類の整った人及び明らかに対象外の人を除いた12名が参加。

スケジュール

- 12月25日 各地より青島空港へ集合。マイクロバスで威海市ホテルへ直行。
日本からの参加者が全員集合して会談及びレセプションを行った。
- 12月26日 大会開会式及び大会リーダーからの挨拶
威海市副市長、山東省科学技術庁、日中技術交流センターが挨拶
日中技術交流センターは技術士と技術士会及び我々の活動を紹介。
プロジェクト契約調印式（主に日本在住中国協会等）
基調講演（静岡県初代牧之原市長、藤嶋昭博士）
プロジェクトプレゼンテーション（7名、技術士から平野富夫、熊澤壽人）
企業とのマッチング会
- 12月27日 幾つかの班に分かれて企業訪問
- 12月28日 威海市から青島迄マイクロバスで行き、帰国

所感

本大会は、山東省威海市の大会でなく山東省全体の大会という位置づけの様で大々的に開催された。特に光触媒の権威でノーベル賞候補にも挙がっている藤嶋昭博士の講演も行ない力の入具合が分かる。

山東省は開発途上の地域で海に面して海岸線も多く交通の便も良いので発展が見込まれ、今後の重要な課題である海洋技術、新素材、先端製造などに力を入れており、これらの面で技術協力を進めたいと考えている。今回の課題である先端製造技術等の課題は素晴らしいが実態は海外からの機械や技術の導入という意味合いが強く独自の研究開発という考えは即効性に乏しく、時間が掛かるという意味かは分からないが余り積極的ではなかったような気がする。

今回の大会の幹事会社は半官半民企業であり技術指導の需要の取りまとめも進めており、そこが積極的に企業と連携をとって行うようであれば依頼が来るかもしれない。





